一般社団法人 発明推進協会

ライブ配信講座 Zoom

難易度 初中級

依頼主に刺さる！特許情報分析の推進ノウハウ
～情報分析をプロジェクトとして成功させる方法論～

講師	塩谷　綱正　氏	株式会社イーパテント・アクティス 代表取締役社長
日時	2026年11月11日（水）13:30～16:30	

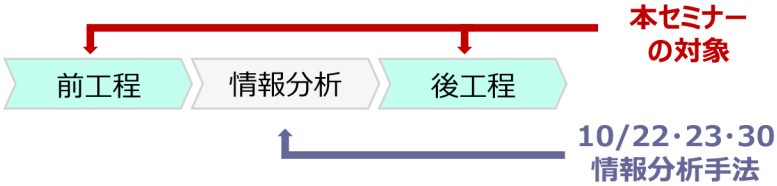
IPランドスケープが広く認知されてから9年が経ち、検索や分析テクニックについて学ぶ手段は整備されてきました。しかし、実務における具体的な推進方法については、依然として個社や個人のノウハウに頼る部分が多いのが実情です。多くの方が、悩みを抱えながら試行錯誤を重ねる状況にあるのではないでしょうか。例えば、分析結果を報告しても、「で？」と返されて立ち往生してしまった等の声を耳にすることは少なくありません。

この講座では、IPランドスケープを「プロジェクト」として捉え、他部門からの依頼を受けてから成果物を納品するまでの各段階でのポイントやコツを、実践的に学ぶことができます。受講後は、試行錯誤が大幅に減り、IPランドスケープの推進効率が大幅に向上するはずです。

＜対象＞

- 知的財産部門などにおいて、IPランドスケープに携わり始めた方
- 基礎的な特許検索や分析について習得できたものの、実際の提供業務がうまくいかないと感じられている方

【解説内容】（予定）



●そもそもの前提を再確認する
- IPランドスケープとは、社内コンサルティングである
- 最も重要なのは、情報需要者ファーストの原則
- IPランドスケープは、プロジェクト業務である

●依頼主の真の要求を引き出し、整理する
- 言うことが曖昧な依頼主との接し方
- 要求を調査要素へ因数分解する
- 相談、報告のタイミングを先に決める

●効率を高める調査設計と仮説思考
- 予備調査による状況俯瞰と仮説構築
- パテントマップの作成自体は分析ではない
- 仮説は検証で進化し、叩き台になる

●報告の方向性を早期にすり合わせる
- どこまで出来たら見せてよいのか問題
- 「隠れた要求」を拾いとる
- 成果物イメージを早期に作り上げる

●依頼主視点での資料化と納品
- 成果物の品質を判定するのは依頼主である
- 依頼主の「問い」に答えているか？
- 相手のフォーマットに合わせて報告する

●Tips：IPランドスケープをどう実現するのか

テキストはPDFで共有させていただきます

LIVE

ライブ配信だからその場で講師に質問可能 &
アーカイブ配信も実施（各講義翌日から2週間）

- 聞き逃しても安心！期間内はなんどでも。
- 再生速度を変更可能！